



2026年(午年)新年号

●2026年1月・2月の活動予定

悪天候時(又は緊急事態等)の作業中止連絡は am7時までにメール致します。

1)1月 11日(日)9時半~14時半 ·集合場所:池の下倉庫

※緊急時指定待ち合わせ場所:E3(池の広場下)

◇作業内容:安全祈願祭・倉庫内外の片付け

・作業場所:池の下倉庫・いっしんどうご神木前

・活動内容:参加部員全員で安全祈願を行う

 :倉庫内の整理と在庫数量の記録

 :倉庫外周辺の片付けと竹垣の設置

 :生駒造園への苗木(楓・大島桜)発注担当の選任

・持ち物 :常備具(手ノコ、竹引きノコ、剪定バサミ、ナタ)、飲料水、お弁当

【持参器具】:インパクト 1、70mm長ビス、150cm長杭×10本

2)1月 25日(日)9時半~14時半[定例作業] ·集合場所:池の下倉庫

※緊急時指定待ち合わせ場所:E3(池の広場下)

◇作業目的:チッパー運転議技能習得講習会・苗畠の竹垣補修

・作業場所:池の下広場・中尾根入り口苗畠

・作業内容:全員によるチッパー運転実習

 :苗畠の竹垣の補修補強工事

・持ち物 :常備具(手ノコ、竹引きノコ、剪定バサミ、ナタ)、飲料水、お弁当

【持参器具】:インパクト 1、70mm長ビス、150cm長杭×10本、チッパー、燃料

3)2月 8日(日)9時~14時半[定例作業] ·集合場所:池の下倉庫

※ボラ塾生受け入れ準備の為、集合時間を 30 分繰上げてあります。

※緊急時指定待ち合わせ場所:A1(いっしんどう広場トイレ付近)

◆作業目的:景観保全型落葉樹林地を目指した保全作業

・作業場所:いっしんどう港南台側斜面地

・作業内容:ボラ塾生への伐採実習

 :ネザサ、アオキ、シロダモ、欠損杉樹の伐採、片付け

 (除伐材は玉切り、カントリヘッジとして使用する)

・持ち物:常備具(手ノコ・剪定バサミ・ナタ)、お弁当、飲料水、他

【持参機具】救急箱、作業旗、ブルーシート、皮むき、ロープ×2束

4)2月 22日(日)9時半~14時半[定例作業] ·集合場所:池の下広場

※緊急時指定待ち合わせ場所:A1(いっしんどう広場トイレ付近)

◆作業目的：景観保全型落葉樹林地を目指した保全作業

・作業場所：いっしんどうエリア

・作業内容：植樹作業の準備（地拵え：植樹地の整理片付け）

支柱竹材の準備

・持ち物：常備具（手ノコ・選定バサミ・ナタ・手力マ）、お弁当、飲料水、他

【持参機具】救急箱、作業旗、ブルーシート、スコップ、カナデコ、

次号192号原稿締め切りは 2月23日(月) 各記録、原稿担当者 よろしくお願ひいたします。

● 活動報告

◆2025年11月9日(日)雨天中止

◆11月16日(日) 臨時作業 晴れ 作業時間9時半～13時 ・参加者 8名

・活動エリア いっしんどうエリア・中尾根エリア・苗畠

◆作業内容 ・いっしんどう講習会場の撤去と来春の伐採実習用伐採木の選定。

・食害にあった植樹木（山桜・オオシマザクラ）への癒合剤の塗布。

・チェンソー実習を兼ねた自然体験教室用作業台（玉切り材）作り。

・苗畠の草取り（新春を迎える用意）、カエデは春に7本くらい移植

出来そうなので、生駒造園にカエデ15本、桜15本くらい注文をする予定。

・自然体験教室（竹細工）のリース、ミニ門松の作り方の要諦を試作担当者より説明を受ける。

詳細は11月23日分を作業準備書に明記をする。

・ハイガーの『正しい粉碎方法 HG-65-G』動画内容の説明と各員の運転習得を再度要請する。

◆寄り合い連絡事項

①自然体験教室用備品確認と手配責任者

※三島氏：緑被覆ハリガネ：軍手（参加家族分）、木工ボンド小4（班分）

紙粘土（ミニ門松押さえ用）、紙ヤスリ四分の一サイズで24枚（1家族2枚）

予備としてポックリロープ ※各員：ミニ門松、リース用装飾品、自分の好みの物を5点。

費用は領主書で部会精算（例100円ショップのクリスマス装飾品等）

②11/29日三部会合同瀬上沢の枝下ろし作業の件は11/23日再度確認を行う。

③12/14日(日)水辺部会主催の収穫祭（餅つき等）を自然観察の森で行うので

お手伝いの要請が来ています。協力できる方は連絡してください。

◆11月23日(日) 曇り後晴れ 作業時間9時半～13時

・参加者 12名

・活動地 公田竹林

◆作業内容 ・自然体験教室伐採会場の整備、片付け（欠損竹・枯竹・危険竹の伐採）

・伐採会場の区割りと伐採竹の選定（スズランテープでマーキング）

以下の詳細内容は12/7日作業準備書に明記する。

・クリスマスリースの制作実習

輪切り用竹材の形状、穴の開け方、切り方の指導を受ける。ハリガネの使い方・グルーガンでの接着実習



・ミニ門松の制作実習

廻し用玉切り材(節を使う)の形状、笑い門松竹の斜め幅。

寸法の確認、紙粘土での竹材の固定、装飾品での飾り付け実習

◆寄り合い連絡事項

① 自然体験教室への参加家族、12 家族(内訳:大人 13 名、子供 17 名)

・自然体験教室関連の備品確認、次回活動日までに下記分は家族分を確保する。

・松ぼっくり・ドングリは有志の方が充分集めてくれました。

・生もの(松葉・千両・ヤブコウジ等)は 12/7 日に区役所に持ち込む。

② 11/29 日三部会合同瀬上沢の枝下ろし作業の件は有志で行う。

参加者が少なく作業が手に余るようなら出来るだけ行い、残りは来春とする。

◆11月29日(土) 3部会合同瀬上沢枝下ろし作業 9時40分管理ヤード集合

樹林地部会参加者 3名 川辺 いきもの 各部会+ボラ塾生

○樹林地部会分担場所 倉庫前～トンボ池の掲示がある場所まで一直線

・崖くずれの修復場所下、タマアジサイの生育地は配慮して行う。

合同作業の意義確認 本日の活動を通して、河辺に光が入り、コケが生えやすくなる。➡カワニナの生育➡
ホタルの繁殖をはじめ いきものの生育環境が保たれると良いです。

◆12月7日(日) 臨時作業 小春日和 作業時間9時半～13時

・参加者 11 名・活動地 公田竹林・栄区役所

◎ 工作作業(クリスマスリース・ミニ門松づくりは初めての試みのこともあり、

各自参加者が積極的に取り組んでくれたので部材の手配、見本品、展示台等、
竹を使った面白い物が短時間に出来ました。

◆作業内容 ・自然体験教室用竹細工の備品、部材を班毎にセットする。

・出来上がったリースの展示台 4、展示用リース、ミニ門松作り。

・上記部材、見本品、展示台の区役所への搬入を行う。

※工作手順:(リースより始める)家族毎に部材、備品の配布

リース:輪竹のバリ落し→ハリガネ通し→必要部分の接着→装飾品飾り付け。

※グルーガンでの接着時、接着剤はタップリ塗布する。

ミニ門松(家族毎に部材の配布):竹材のバリ落し→竹材の汚れ落とし→

→廻し竹へのセット(紙粘土で)→装飾品飾り付け。

◆寄り合い連絡事項

① 12/13 日当日お疲れ反省会用お弁当数は 18 ヶ手配する(協力会員含む)。

② 11/29 日三部会合同瀬上沢の枝下ろし作業は有志 3 名で、日陰になる所を中心に行つた。参加者 K.I S.O N.T の有志 3 名です

③ 令和 8 年 1 月 11 日年初作業始め日、安全祈願祭と今後の部会活動の関して
皆と懇談出来る場を設ける。具体的な内容は役員で今後相談を行う。

◆12月13日(土) 臨時作業 肌寒い曇天 作業時間 9 時～14 時 ・活動地 公田竹林・栄区役所

・参加者12名+協力会員 3 名 区役所より 3 名、参加家族 8 家族(大人 9、こども 13)の計 40 名

◆作業内容

- ・受託業務 栄区主催『自然体験教室』の開催。公田竹林での受付・装備具貸出し、小講義・伐採体験実習・区役所4階での竹細工教室の運営管理を行う。

◆反省点・寸評

- ・装備具貸出し場所に参加者の集中混雑が見られた。対策として受け付け後は、担当班部員に装備品は任せ、貸出し具保管場所より離れた所で装着準備を行うようにする。
- ・低学年が多いので、小講義の内容は主題を絞り込み、竹なら竹自体の独特的な性質だけを興味もってもらえるように講話が出来るよう検討の必要がある。
- ・伐採実習の時間が短かった。もう少し体験時間が長くても良いと思われる。
- ・リース、ミニ門松等の作成実習を行つておいたので、教室では子供達や父兄の主体性を尊重出来る余裕があった。



ここは 竹林



貸出道具の準備



伐採体験



区役所にて 手順の説明



リースづくり



ミニ門松づくり



それぞれの参加者の完成品(一部)

◆寄合い事項

- ・令和8年1月11日(日)の年初活動日には『いっしんどう広場 ご神木前』で安全祈願祭を行う。その後の活動内容は『こじゅけい通信』で連絡を行う

編集後記

こじゅけい通信は、かれこれ数えて191号になりました。2026年1月、新年号です。途中から2か月に一回の発刊となりましたが、会員の皆様のご協力のおかげで、長きにわたり続いております。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。午年、飛躍の年にしたいですね。(編集 TN)